

経済指標ウォッチャー

9月米小売売上高 市場予想を上回る高い需要が示される

物流網の混乱等による物価の高騰は懸念材料

小売売上高とは？

百貨店やスーパーなどの小売・サービス業の月間売上高について、サンプル調査をベースにした景気関連の経済指標（耐久財と非耐久財に大別）。消費者が商品購入にどれだけお金を使ったかが分かる。個人消費はGDP（国内総生産）の中でも大きな割合を占めることが多いため、個人消費のトレンドや景気の良し悪しを判断するためにも重要視される。

小売売上高は市場予想を大きく上回る

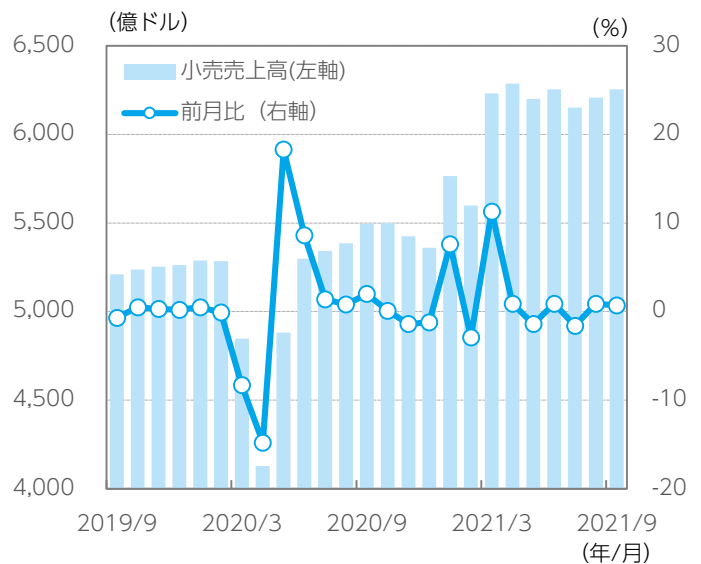
米商務省が15日発表した2021年9月の全米の小売売上高（季節調整済み）は前月比0.7%増の6,254億ドルとなりました。市場予想の同0.2%減を大幅に上回りました。デルタ株まん延による感染再拡大を受けて外出が抑制されたことや、9月上旬には追加の失業給付が期限切れとなったこともあり、市場では前月比でマイナスとなるとの見方が多かったものの、消費への需要が依然として高いことが示される結果となりました(図表1)。内訳を見ると、在庫不足等の影響もあり前月に同3.3%減と大きく減少した自動車販売店の売上高が同0.5%増とプラスに転じました。販売価格の上昇が原因とみられます。また、職場に復帰した人が増加した影響から、衣料品の販売も好調な結果となりました。

感染拡大や物価高が続くかに注目

民間の調査機関であるコンファレンスボードが9月28日に発表した9月の米消費者信頼感指数(1985年=100)は、109.3と前月の115.2から低下しました(図表2)。3カ月連続の低下となり、市場では今後消費に慎重姿勢を示す人が増加するとの見方もあります。

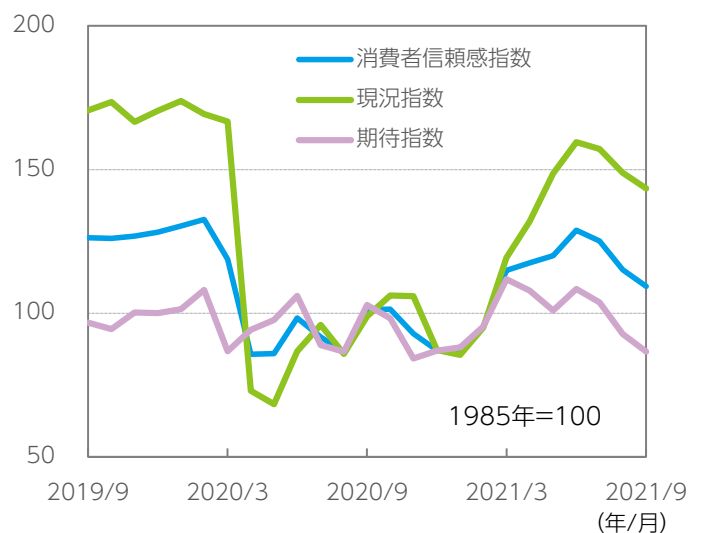
年内のテーパリング(量的緩和縮小)開始を示唆するなど、FRB(米連邦準備制度理事会)は経済活動の正常化が進んでいるとの認識を示しているとみられます。経済活動正常化の進展から、消費が大きく落ち込む可能性は低いと考えられるものの、物流網の混乱や原材料不足に起因する物価高騰により、消費者が消費に慎重な姿勢を強め、小売売上高が軟調に推移する可能性もありそうです。

図表1：小売売上高の推移



データ期間：2019年9月～2021年9月（月次）
出所）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

図表2：消費者信頼感指数の推移



データ期間：2019年9月～2021年9月（月次）
出所）CEICのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>